



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER,2-18-12 NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO 169-0051,JAPAN

- 国際会長主題 「世界とともにワイズメン」
- アジア会長主題 「100年を越えて変革しよう」
- 東日本区理事主題 「私たちは次の世代のために何ができるか？」
- あずさ部部長主題 「道を拓く～愛と協力によって」
- 東京西クラブ会長主題 「わからないこと、言いたいことは、何でも声に出しましょう！」

2021年9月号

NO 540

主を尋ね求めよ、見いだしうるときに。呼び求めよ、近くにいますうちに。
主に立ち帰るならば、主は憐れんでくださる。

(イザヤ書55章6～7b節)

ワイズが行う献金について

神谷 幸男

会員増強に繋がる重要な奉仕活動として、CSやYMCAサービス事業と並んで諸活動への献金がある。我クラブはCS、ASF、BF、TOF等の献金に関しては区の設定目標をクリアして、毎年表彰されている。しかしこれらの献金は、年会費の中から支出されているため、ともするとそれぞれの献金の意義に対する認識が希薄化し、うっかりすると献金していることすら忘れてしまいそうになる。ときには我々が行っているそれぞれの献金による奉仕活動・社会貢献活動の意義を再認識したい。当然われわれが行った献金がどのように使われたかが関心事となるが、東日本区の年次会計報告には集まった金額と送り先と金額しか判らない。それで十分な場合もあるが、もっと詳しいことが判れば献金した実感が沸く。

もっとも公表されているにも拘わらず、当方の不勉強のために見落としているだけなのかもしれない。

TOF資金に関しては国際レベルで検討されるので、国際本部のレポートを見ればわかるのだが、面倒？なので見ず仕舞になってしまう。

今般、「エリア会長月間通信8月号」に国際協会からのお知らせとして、「TOF資金は、2021年度、下記プロジェクトに提供されることになりました」なる記事が掲載され、8件のプロジェクトに資金が提供されることが記載されている。ここにはプロジェクト名と提供金額が記載されているだけなので詳細は不明であるが、どのような事業に提供されるかについて判るので、有効な資料であると思った。その約1週間後にA4、3ページにわたる詳細な紹介が東日本区国際・交流委員長によってメールで拡散された。

我々の行う細やかな献金がこのような素晴らしい事業に有意義に使われることを再認識することが出来、大変有効な資料であると思った。



本号が発行される頃には秋風が心地よく吹いていることでしょう。上は国立昭和記念公園、花の丘で撮った写真です

TOF資金の実施プロジェクト8件の詳細をここでは省略しましたが、是非ご覧ください。

東日本区公式ホームページ「国際・交流」。東日本区国際・交流委員長のメール [yscom.8025] 2021.08.13付参照

クラブ役員

- 会長 鳥越 成代
- 副会長 吉田 明弘
- 書記 本川 悦子
- 会計 石井 元子
- 担当主事 横山 弥利

7月の記録				ニコニコ	4,400円
在籍者数	12人	メネット	0人	クラブファンド	—円
(内功労会員)	1人				
出席者数	11人	コメント	0人	ファンド残高	113,308円
メーキャップ	0人	ビジター	0人	ホテ校ファンド	17,000円
出席率	100%	ゲスト	0人	ホテ校残高	89,500円
内Zoom参加	0人	出席者合計	11人	WHO参加者	—人

9月例会のご案内

今月の強調テーマ： EMC

9月に入り、新型コロナウイルス感染拡大予防には相変わらず厳しい毎日ですが、酷暑からは解放され少しはゆったり感を取り戻したように思います。

今月の強調テーマ・EMC、我がクラブにとっては特に会員増強。会員増強の決め手は魅力あるクラブ作り。例会をはじめ、クラブの魅力作りに情熱を注ぎ込みましょう。

今月は東京 YMCA ホテル専門学校支援活動例会です。

日時：9月16日(木) 18:45~20:00

会場：ウエルファーム杉並 4F

杉並区天沼 3-19-16

03-5335-7318

会費：1,500円

担当：C班（神谷、河原崎、篠原、横山）

HAPPY BIRTHDAY

15日 村野 繁 23日 本川 悦子

25日 高嶋 君弘

開会点鐘
いざたて
聖書朗読・祈祷
開会挨拶・紹介
私費留学生奨学金贈呈式
留学生紹介
会食

留学生スピーチ

パラムララゲ コリタ カヴィミンダ パラムレさん
(スリランカ)

チャン キム ホアンさん(ベトナム)

ハッピーバースデー

諸報告

鳥越成代会長
各担当者

YMCA 報告

ニコニコ

閉会点鐘

一 同
鳥越成代会長

受付：河原崎和美
司会：篠原 文恵
会長 鳥越 成代
一 同
神谷 幸男
会 長
鳥越成代会長
小畑貴裕校長

— 8月事務会報告 —

日時：8月26日(木)

17:00~18:45

会場：ウエルファーム杉並 4F

出席者：石井、篠原、高嶋、鳥越、
本川、村野、吉田

<報告事項>

会計報告は承認した。

<協議事項—例会関係—>

▼9月例会

①YMCA ホテル学校留学生奨学金の授与式を行う。

②ベトナムとスリランカからの奨学金対象の留学生にスピーチをしていただく。

▼10月例会

まだコロナが治まっていないと思われるので、スピーカーは頼まないで、ニコニコの時のひとことを延長して、クラブの親睦を深める。

<協議事項—例会以外—>

・ブリテン9月号の編集会議

担当：神谷・河原崎・篠原・横山
・ホテ校ファンドの不足分は経常会計から補てんする。

・WI-FIの取り込みについてレンタルで鳥越会長のパソコンに取り込むことになっていたが、鳥越さんのパソコンの調子が悪いので、本川書記のパソコンに取り込むことにした。

<その他>

・担当主事の横山さんが研修会に参加するため欠席となります。留守の間、当クラブのブリテン「YMCA Today」には、小畑貴裕国際ホテル学校校長が寄稿される。

・10月16日、八王子わくわくの森で開催予定のあずさ部部会(長谷川あや子部長・東京八王子クラブ担当)は、10月16日 ZOOMにて行われることになった。

・IBC 韓国太田クラブにブリテンを送付しているが音信がない。9月号に安否を問う手紙をサーキュレーション担当が封入する。

(書記・本川悦子)

✉ 田上正さんからの便り

東京勤務の間、毎月のように例会に出席し、ゲストを紹介して下さった田上正さん(熊本むさし)から近況が届きました。

* * *

ご無沙汰しています。新しい仕事は、コロナ感染問題で入院中は面会できないことから、在宅希望される方が増え結構忙しくしています。

それにもまして次期理事としての会議(WEBがほとんどですが)が毎日のようにあります。また8月は熊本YMCA総主事が召天され、次期総主事選考や臨時常議員会、理事会などが多く疲れましたが、9月になり、部会が始まりますが、延期になる部会が多く出てきています。(田上 正)





本川悦子さんのヴァイオリン演奏

ヴァイオリンと京料理 — 8月納涼例会 —

毎年 8 月は普段とは会場を変えて納涼例会を楽しんでいます。今年も会場の時間制限、アルコールなしということで通常の会場で行うことになりました。アトラクションにメンバーである本川悦子さんにヴァイオリン独奏をお願いし、食事は、京料理美濃吉の 2 段重ねの松茸弁当を奮発しました。

開会時セレモニーはいつもの通り。マスクを外してやや小声の会話をしながらの会食。それでも 15 品ほどある料理を食べ終えるのには通常より時間がかかりました。

紹介なしで本川さんの演奏です。解説を加えてもらいました。

Bach の管弦楽 3 番組の第 2 曲 (アリア) が「G 線上のアリア」と呼ばれるようになったのはヴァイオリニスト、アウグスト・ウイヘルミがバッハの原曲をニ長調からハ長調に編曲してヴァイオリンの 4 番線 G 線のみで弾けるようにしたためです。今日はバッハが作曲したニ長調の Air (アリア) を弾きます。シャルルカミュ・サン・サーンスはフランスの作曲家で今年 2021 年は没後 100 年です。「白鳥」は組曲「動物の謝肉祭」の 13 番目の曲、チェロとピアノのために書かれた美しく高貴な白鳥の姿を描写しています。「動物の謝肉祭」は全部で 14 曲あり動物たちの特徴を

捉えてユーモラスな動きを描写している。獅子、とり、馬、亀、象、カンガルーなど子供が聴くと楽しいが、大人にはサン・サーンスの酷評をする評論家への皮肉があるようだ。因みにバレエの「瀕死の白鳥」はこの曲を編曲したものです。フリッツ クライスラーはオーストリア出身のヴァイオリニストであり作曲家です。この「美しきロスマリン」は明るく楽しい舞曲です

万雷の拍手。鳥越会長から花束が贈られました。

本川悦子さんは、日本フィルハーモニー交響楽団の「60 歳からの楽器教室」の受講者募集に応募して 45 年振りにヴァイオリンを始めました。教室に 5 年間在籍してから杉並のアマチュアのオーケストラ、弦楽合奏団に参加して現在は荻窪の弦楽合奏団で楽しんでおられます。

出席者：＜メンバー＞石井、大野神谷、河原崎、篠原、高嶋、鳥越、本川、村野、横山、吉田

第29回アジア太平洋地域大会

(ZOOM 参加)

日時：8月14日(土) 13:00～

場所：台湾・台南市

主題：変化をもたらそう

出席者：約 500 人 (内東日本区約 90 人、西日本区約 100 人)

大会は、会場からの中継と事前録画されたプログラムから成っていた。13:00 から太鼓の演奏 (約 10 分) で始められた。続いて



聖書を朗読するマーク・リンさん (IBC台北中央クラブ)

会場における開会式。(なお、開会式での聖書朗読・祈祷は IBC 台北セントラルクラブメンバーのマーク・リンさん〈台湾区書記〉が務めた。)

引き続き (休憩なしで) 大会プログラム、地域会長就任式、新会長大野勉さんの就任あいさつ、新役員紹介。新役員本人の登場はおろか顔写真もなく役職名と名前だけ。続いて直前会長のあいさつ (前年度報告)。基調講演というよりはワイズ 2 世 (父上がワイズ活動家) のワイズメン (ウーマン) としての決意表明的なスピーチ。(スピーチの中での数枚の挿入写真、おそらくワイズリング時代の写真の中で、石井一也さん夫妻が臨席している写真があった。)

続いてアジア・太平洋地域 7 区の紹介と活動報告 (1 区あたり約 3 分であったから、サワリだけ)、AYC 報告、次回第 75 回国際大会アピール (ハワイ)、第 30 回アジア太平洋地域大会アピール、ワイズ 100 周年大会 (台北) アピール、閉会あいさつ、閉会宣言と立て続けに流れて終了となった。所要時間 2 時間 30 分。

コロナ感染拡大真っ最中の大会ということで万事やむを得ない開催であったので、会議としても内容が希薄で、「参加」したという感じがまことに薄かった。

リアルで開催できるよう早期コロナの収束を祈るばかりである。当クラブからは吉田・神谷が Zoom 参加しました。

(神谷幸男)

ニコニコスピーチ

今月は、クラブメンバーによる活字版ニコニコスピーチを集めました。

【神谷幸男】

◎ステイホームを忠実に守り、気分が湿りがちなので、たまには郊外の空気に触れようと、「密」となるかもしれない公共乗り物を避けてマイカーで徘徊することにしている。徘徊だから目的地はない。今までに立ち寄った処。

河口湖・精進湖・本栖湖周辺、山中湖周辺、箱根・箱根ガラスの森美術館、相模湖・さがみ湖プレジャーフォレスト、狭山湖周辺、秋川溪谷、富士山樹空の森、朝霧高原、埼玉県中西部の道の駅5カ所巡り

◎最近、笑えたこと。

2021年8月10日付毎日新聞朝刊「ふんすい塔(コラム)似て非なるもの カワイ姉妹=金 カワイ夫妻=金 (前橋・権助)」

【村野絢子】疫病退散祈願

コロナの中オリンピックが終わったが、天平8年(西暦736)前後にも疫病(天然痘)の大流行があり、藤原4兄弟はじめ、国民の三分之一が亡くなったと言われる。その頃、橘諸兄(たちばなのもろと)が活躍したと知り、「橘諸兄」を読んだ。この疫病大流行の後、国分寺建立(741)・大仏造立(743)が行われている。

【河原崎和美】猫と家族

昨年の自粛期間中に娘が保護猫を飼い始めました。それからと言うもの、月に数回娘宅に通うようになりました。ご飯を作って持って行き、まるでピクニックのように孫も含め、みんなでご飯を食べます。

猫は人間のご飯には興味がないものの、周りをウロウロしていて私たちの側から離れません。自粛生活でどこにも行けない私にとっては、本当に楽しく幸せなひとときを与えてくれています。

【横山弥利】YMちゃんねる

ホテル学校ではいくつかの特別授業を開講しました。ホテルには接客を中心とした仕事以外にも、セールスや広報、企画などの仕事もあり、「PR講座」と題し学びました。最終的に20グループに分かれて自分たちの学校のPR動画を作成。動画撮影から編集まで全てスマホでの制作です。どれも個性的な作品ばかりとなりました。Youtubeで「YMちゃんねる」と検索して、ぜひご覧ください!

【吉田明弘】いつの間に?

5、6年前から、家から40歩ほどの区立運動公園でラジオ体操をやっている。コロナのおかげで休むことがなくなった。今は右肩を痛めているので、左半身しか動かさない。終わると、若いご婦人に声をかけられた。「吉田さん、五十肩ですか」「…。50と言われてはそうですとは言えない」「80になっても五十肩というのですよ。「なんで人のトシ知っているんだ!」。

【篠原文恵】ワイズと五輪

オリンピック閉会式の盆踊り風景では、横浜で開催された国際大会での盆踊りを思い出しました。舞台に躍り出たSHERIFF(保安官)達の寸劇が楽しかったし、終わってから海外のお客様とホールの前で名残惜しく記念写真を撮り合ったこと、本来ならオリンピックでも同じ光景があったのにとコロナ感染爆発を恨みます。オールJAPANが活躍した横浜スタジアムの後方に、普段なら沢山の広告の陰に隠れて目立ちにくい横浜YMCAのマークがくっきり見えたこと…、終わってみれば沢山の感動がありました。

YMCA Today

■国際ホテル専門学校ではコロナウイルス感染症対策を徹底し、9月6日(月)より2学期の授業

がスタートします。1年生は本来9月から始まるホテル実習を少し遅らせ、それまでの間はオンライン授業を行う予定です。2年生は登校しての授業となります。現在の内定率は50%を超えています。多くの学生が就職活動を続けています。コロナ禍の就職活動であっても、それぞれに合った就職先にたどり着けるよう、スタッフ一同しっかりサポートしていきます。

■7月7日(水)~16日、東陽町コミュニティーセンターにて第6回平和展「長崎原爆被災写真パネル展」を開催。このパネル展は、平和といのちの大切さを訴えるために毎年行っているもので、これまでは広島県の被災状況や子どもたちの絵画を展示してきたが、長崎のことも知ってほしいとの願いから、6回目となった今回は長崎原爆資料館からお借りした写真41点を展示しました。

■7月17日、「みらいをまもろうSDGsチャリティーマルシェ@しののめYMCAこども園」を開催。園内には「こどもコーナー」、「SDGsクイズ」コーナー、「牛乳パックecoジオラマ展示」など、楽しみながら環境や貧困を考えるブース設置のほか、フードパントリーのための食品寄付や、カンボジアへの制服寄付を呼びかけるブースも用意し、園児と保護者に好評でした。

■8月24日に開催された東京パラリンピックの聖火を全国各地でおこす「採火式」に、江東区内の高齢者施設を代表して、東京YMCAが運営するグランチャ東雲(江東区児童・高齢者総合施設)が協力。8月20日に江東区文化センターで開催された採火式には、菅谷淳総主事とグランチャ東雲館長の口原恵美子氏が出席し、事前にグランチャ東雲の来館者にパラリンピックへの思いなどを記してもらった短冊を燃やし、ランタンに点火しました。

(担当主事 横山弥利)

☆☆☆インタビュー☆☆☆ 長谷川 等さんに聴く

沼津クラブ

* * *



—長谷川さんは生まれも育ちも沼津ですか。

「いいえ、北海道の夕張出身です。父が炭鉱夫だったので夕張で生まれ、高校の1年までいました。石炭産業の衰退に伴い高校2年の時に一家で沼津に移住しました」
—どんな子でした。

「友達と遊んだ記憶があまりないのです。2歳の時小児麻痺にかかり、右手が不自由に。就学前に左足関節炎(カリエス)にかかり、地元では手に負えず札幌の北大病院に行き、足の切断を免れたようです。病院での治療は今でも鮮明です。自分に使用される電気ドリル、ノコギリ、ノミ、ハンマーなどが治療台に並べられているのです。見ただけで恐怖感で泣き叫び先生も親も大変だったようです。治療までに2、3年かかったようです。小学校への入学はなんとか出来て、最初の頃は母に背負われての通学で入学式や学校行事は欠席であまり憶えていないのです。どうもあまり思い出したくない記憶のようです」

—サラリーマン経験は。

「高校を卒業した1966年に日本YMCA同盟の御殿場・東山荘に勤めました」

—スタッフだったんですね。それを知らないクラブメンバーが、長谷川さんが東山荘の電話、0550-83-1133をそらんじているのに驚いたと言う話を聞いたことがあります。

「あれは私がとった番号なのですよ。東山荘では施設の大改造、新築が行われ、夏だけでなく年間利用が可能になり職員も急増した頃です。5年間東山荘にいて、その後2年間は東京YMCAホテルに勤めました。YMCAに通算7年お世話になり、いろんなことを学ばせていただきました」
—YMCAをやめて現在のお仕事につかれたのですか。

「YMCAでは勤務の傍ら大学の通信教育を受け、夜間学部へ編入し、卒業と同時に退職し、3か月間ヨーロッパをリック1つの貧乏旅行をしました。帰国後、何の専門知識もなく体力もないものにはサラリーマンは無理と思い、今の仕事を選択しました」
—どんなお仕事ですか。

「一般家庭や会社等へモップやマットなどを貸し出すのが主な仕事です。店舗の必要なく車1台で営業出来、1973年に開業して今でも細々とやっています」
—ワイズは沼津クラブに。でした。

「ええ。歴代の東山荘所長から何度も誘いを受けましたが、格式が高くて私には無理と断り続けていましたが、1993年、毛利俊雄所長の時に入会させていただきました。沼津のYMCAの歴史は1905(明治38)年キリスト教界の大立者、片岡健吉、江原素六の時代から始まり、1946(昭和21)年に沼津YMCAが設立されました。沼津クラブの設立も図りましたが、これは成功しませんでした。1967年、熱海クラブ、東京クラブをスポンサーで日本区44番目のクラブとして誕生しました」

—長谷川さんは2007-2008年、富士山部長を務められました。かなり強引、かなり猛烈な印象がありました。

「前年度メンバー数が300人を割りこみ、回復を試みたのですが実現できませんでした。ただ15人以下のクラブが2クラブありましたが、例会に1年間毎月通い、

もちろん危機感を持った両クラブの努力もあってのこと、グッドスタンディングクラブに戻りました」

—富士山部にはインドのトリヴェンドラムYMCAの女子の職業訓練教室の提案支援がありました。

「これは、1985年から始まった富士山部全体のプロジェクトでした。メンバー全員が2千円ずつ拠金し、メンバー個人の高額な寄付もあって建物やマシンを贈りました。毎年、現地訪問があり、2014年まで続き、私も6回訪問しました」

—このきっかけをつくられた竹内敏朗さん(元国際会長)の自叙伝を本行孝司(YMCA同盟主事)、池谷淳さん(下田)と企画され、インタビュー、テープ起こしをされました。こういうこと、お好きなんですか。

「まったく向かない、むしろ嫌いな分野です。ただ竹内さんと接する機会が多くなり、最初は雲の上の人でしたが、何回も接しているうちにこの人はどんな人なのかと思うようになりました。そんな時竹内さんを朝日新聞夕刊が戦後に日本にフォークダンスを広めた人として紹介しました。竹内さん本人に当時のことを話して頂いたのが始まりです」

—私も驚きました。竹内さんには、ワイズに入る前にお会いしていましたが、旅館のご養子だとばかり思っていましたから。長谷川さんが仕事とワイズ以外でやられていることは。

「パソコンが普及する前には、アマチュア無線をやっていたりしゃいました。モールス信号も和文・英文と每晚叩いていました」
—ここぞという時に浮かぶ言葉がありますか。

「Dreams come true」(夢は叶う)です」

—有難うございました。

(吉田明弘)

私の大切な人

村野絢子

長崎の修道士―前篇

8月1日早朝テレビの画面に映っているのは懐かしい顔、広い中学校の講堂で生徒たちに語り掛けている。長崎の聖コルベ記念館の小崎党明修道士、お会いしたのは25年前、現在93歳になられる。

8月9日、17歳の少年はトンネル内の工場で働いていた。11時2分、突然耳をつんざく音がして入口から爆風が吹き、工員たちは横倒しにされた。何がどうしたのか、目を開き、体を起こすと、電球は消えトンネル内は真っ暗。仲間たちが騒いでいる。

一人の女学生がトンネル入口からふらふらと近づき泣いている。石油ランプを近づけて驚いた。髪の毛がジリジリと燃えていた。「工場の弁当を取りにトンネルの外に出ているとピカリ！気がつくところになって」としきりに泣く。30分後には血まみれの負傷者が折り重なるように入ってきた。

トンネル内は負傷者たちの悲鳴で混乱した。自分はまったくの無傷で放射能の危険を全く知らなかった。トンネルを出て家のある爆心地近くの浦上まで

接近し原爆の惨状を全て見た。母も家も失い孤独となった。「見た、体験した、逃げた」といえる。立って歩く人がいない、立ったまま黒焦げの姿で死んでいた。足が材木の下敷きになった女学生を担架で運ぶ手伝いの途中で、飛行機の音が聞こえ、担架を鉄道線路の近くに置いて逃げた。

森の中へ避難する途中、自分をいじめた先輩の工員の腹部は裂け、内臓が突出し苦悶していた。軽蔑の目で彼を見下し無慈悲な態度でその場を去った。敵を許せない人間の弱さとして人生の課題となった。



聖コルベ記念館

随想 正丸峠

神谷幸男

6~7年程前、秩父からの帰り道、正丸峠の茶店で休憩したことがあった。ちょっとした崖に張り出した茶店のデッキで決して絶景とは言えない景色を眺めながら小学生であった長男とアイスクリームなど食べての小休憩した記憶がある。

この夏、涼みがてらにふと正丸峠に行ってみたくなった。秩父に向かって国道299号線を走り、ぼんやり走っていると正丸トンネルに入ってしまうので注意しながら正丸峠に通じる旧道の峠道に進路をとる。

正丸トンネルを通ればあっという間に山を通過して(約2km)秩父へ行ってしまっ、峠を通らないからである。峠道(市道)はなんと12km。しかも曲がりくねった山の道である。その道の頂上は正丸峠で、ここで道路に車を置いて1軒しかない茶店で一休み。デッキは昔と同じであった。しか



正丸峠の一軒しかない茶店

しデッキは数組の先客ハイカーグループが食事中で満杯。仕方なく立ったままアイスキャンデーをかじりながら景色を楽しんだ。

ここは標高636m。その時の気温27℃、下界が34℃であったから一応涼を得たことになって満足して峠を離れた。峠道を秩父に向かって下り、国道299号線に戻り、あとは秩父の街も通過し、長瀬にも宝登山神社にもよらずに花園ICを経由してまっすぐ帰宅

した。

編集後記

新年度になってから順調にリアルな例会を行うことが出来るようになりました。嬉しいことです。そこでブリテンも6ページ建てにしました。原稿を寄せて下さった方々、レイアウトして下さった方に感謝します。

(神谷幸男)